

さけ科学館 冬のイベント

さけ科学館
応援キャラクター
ちびリンカ



さけ科学館では新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、可能な範囲でイベントを開催しています。今後の状況により急遽イベントを中止させていただくこともございます。予めご了承ください。

さけ科学館

検索



季節展示 「サケの発眼卵」 11/12～12/27
「サケの赤ちゃん」 12/5～1/31
「サケ稚魚」 1/26～5/5

【発眼卵】



【サケの赤ちゃん】



さけ科学館では、サケの卵を受精させて育てています。この時期は今シーズン採卵した卵の、貴重な成長の様子を観察することができます。卵の中で目が出来てくる「発眼卵」、孵化し自分で動けるようになる「赤ちゃん」（仔魚）、「稚魚」になり大群が地下水槽を泳ぐ様は圧巻です。すくすくと成長する様子をぜひ見に来てください！



**わくわく
たいけん** サケたちのエサやり体験

申込不要

真冬でも、さけ科学館のサケたちは屋外の池で元気に泳いでいます。雪の中でも元気にエサを食べるサケたちにみんなでエサやりしませんか？暖かい格好で参加して下さいね。

- 日時： 12月26日(土)・1月16日(土)・2月6日(土)
2月20日(土)・3月6日(土)・3月27日(土)
- 時間： 14:00～
- 場所： さけ科学館構内
- 対象： どなたでも（小学校低学年以下の方は保護者同伴）



サケの豆知識 「サケの卵は川ではどのように育っているの？」



サケの卵はこぶし大の石がゴロゴロしている川底に産み落とされます。石と石の間に入り、受精してから発眼卵を経て仔魚になります。仔魚の間はお腹の卵嚢に栄養があるからエサ食べなくても大丈夫。お腹の栄養がなくなり、自分でエサを取るようになる「稚魚」になるまで川底に身を潜めます。豊平川で生まれた稚魚は3月から4月に川を下り海へ旅立ちます。